

指 示

令和 7 年 9 月 2 2 日
給付指 2025-102

「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に基づく
対応

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	<p>令和 7 年 6 月 11 日【給付指 2025-65】「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に関する周知で厚生労働省から公表された「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、過去の不支給等事案について、決定内容の点検を進めています。点検の結果、障害等級に該当する程度の障害状態にあると確認できた方について、順次、不支給等決定を取消し、新たに障害年金を決定しますので、お客様等への対応方法等をお知らせします。</p>
指示の内容	<p>1 概要</p> <p>（1）点検は、調査報告書Ⅲ 2. に基づき、下記の事案について行います。</p> <p>① 精神障害等の、令和 6 年度以降の不支給事案（既に審査請求で裁決等が行われた事案を除く。）</p> <p>② 精神障害の、令和 6 年度以降に目安（※）より下位の等級に認定され支給されている事案や、目安が 2 つの等級にまたがるものについて、下位等級に認定され支給されている事案</p> <p>※ 目安とは、「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」に基づく「障害等級の目安」をいう。</p> <p>（2）点検した結果、障害等級に該当する程度の障害状態にあると確認できた方について、順次、不支給等決定を取消し、新たに障害年金を決定します。</p> <p>点検による処分変更の初回決定は、令和 7 年 9 月 25 日（木）です。</p> <p>2 不支給等事案の点検に係る事務処理（詳細は別添 1 参照）</p> <p>（1）点検対象者等の確認方法</p> <p>点検対象者及び点検の進捗状況は、【年金給付】受付進捗管理システムで確認することができます。</p>

	<p>（２）点検の結果、処分変更となる対象者へのお知らせ</p> <p>点検の結果、不支給等決定を取消し、新たに障害年金を決定する対象者には、年金証書とお知らせ文書等を同封の上、送付します。</p> <p>（３）処分変更となる対象者のうち、追加書類が必要となる方への対応</p> <p>審査の結果、追加書類（年金受給選択申出書等）が必要となる方については、年金決定前に障害年金センターから返信用封筒を同封の上、書類の提出勧奨を行います。</p> <p>お客様から、書類が年金事務所等に提出された場合は、点検を行った上で障害年金センターに回付してください。</p> <p>（４）市区町村への情報提供</p> <p>年金事務所は、市区町村から点検対象者や進捗状況の確認を求められた場合には、【年金給付】受付進捗管理システムを確認の上、回答してください。</p> <p>３ 照会対応</p> <p>（１）お客様からの一般的な照会に対しては、不支給等事案の点検に係るＱ＆Ａ（別添２）を参考に回答してください。</p> <p>（２）障害の状態に関する回答が必要な場合には、障害年金センターの各担当グループに照会した上で、年金事務所からお客様に回答してください。</p> <p>４ 不支給等事案の点検の進捗状況等の日本年金機構ホームページへの掲載（別添３）</p> <p>現時点の認定業務の運用改善及び不支給等事案の点検の進捗状況等について、ホームページに掲載しました。</p> <p>「トップページ」＞「障害のある方」＞「障害年金の認定状況について」</p>
（注意点）	不支給等事案の点検に係る進捗状況については、日本年金機構ホームページの「障害年金の認定状況について」に掲載し、今後毎月公表する予定です。
別添資料	<p>【別添１】「令和６年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に基づく不支給等事案の点検に係る事務処理</p> <p>【別添２】不支給等事案の点検に係るＱ＆Ａ（職員向けＱ＆Ａ及びお客様向けＱ＆Ａ）</p> <p>【別添３】日本年金機構ホームページへの掲載内容</p>

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象	<input checked="" type="checkbox"/>
---------	-------------------------------------

「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に基づく
不支給等事案の点検に係る事務処理

《目次》

1 不支給等事案の点検の概要

- （１）点検の概要
- （２）点検対象者
- （３）点検状況

2 不支給等事案の点検に係る事務処理

- （１）点検対象者の確認方法
- （２）点検の結果、処分変更となる対象者へのお知らせ
- （３）処分変更となる対象者のうち、追加書類が必要となる方への対応
- （４）「年金生活者支援給付金請求書」の提出勧奨対象者についての対応

1 不支給等事案の点検の概要

（1）点検の概要

[令和 7 年 6 月 11 日【給付指 2025-65】「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に関する周知](#)で厚生労働省から公表された「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、令和 6 年度以降の精神障害等の不支給等事案（既に審査請求で裁決等が行われた事案を除く。）について、認定基準等に則り、適切な判定が行われているかどうかを確認します。

点検の結果、障害等級に該当する程度の障害状態にあると確認できた方について、順次、不支給等決定を取消し、新たに障害年金を決定します。

（2）点検対象者

令和 6 年度決定分の精神障害等（その他の疾患による障害（慢性疲労症候群、線維筋痛症等）を含む。）の不支給事案について、年内に優先的に実施します。また、令和 7 年度の不支給事案についても、認定プロセス見直し前の 4 月～8 月決定分の点検を実施します。

さらに、令和 6 年 4 月～令和 7 年 8 月決定分の精神障害に係る「支給事案」についても、「目安（※）」より下位の等級に認定され支給されている事案や、目安が 2 つの等級にまたがるものについて、下位等級に認定され支給されている事案等についても、その後、順次、同様に点検を行います。

※ 目安とは、「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」に基づく「障害等級の目安」をいう。

（3）点検状況

精神障害の不支給事案の点検については、令和 6 年 4 月～令和 6 年 7 月原処分まで点検済みです（令和 7 年 9 月 19 日時点）。

点検の結果、支給となる事案については、順次、対象となる方に年金証書等を発送します。（処分変更の初回決定：令和 7 年 9 月 25 日）

点検状況については順次お知らせします。

2 不支給等事案の点検に係る事務処理

(1) 点検対象者等の確認方法

点検の対象者及び点検の進捗状況は、以下の手順で【年金給付】受付進捗管理システムから確認してください。

点検対象者照写日：令和 7 年 9 月 24 日（水）

事跡登録対象者：令和 6 年度決定分の精神障害等（その他の疾患による障害を含む。）

不支給事案の対象者

※ 令和 7 年 4 月～8 月分及び支給分の点検対象者については、今後、順次登録する予定です。

① 検索条件の入力




① 検索条件を入力する。

② 検索結果が出力される。

③ 受付番号を押下

② 受付番号（詳細）の表示



④ 「メモ」欄の記載内容を確認する。

- 点検未了の場合
不支給事案等の点検対象者
- 点検完了かつ処分変更が有る場合
不支給事案等の点検対象者
点検完了/処分変更有り
- 点検完了かつ処分変更が無い場合
不支給事案等の点検対象者
点検完了/処分変更無し

※ 点検対象者と思われる方からの連絡があり、【年金給付】受付進捗管理システムのメモ欄に上記文言の登録がない場合については、確認のため、年金給付部障害年金 G（03-6861-8140）に連絡してください。

（2）点検の結果、処分変更となる対象者へのお知らせ

- ① 点検の結果、障害等級に該当する程度の障害状態にあると確認できた方には、障害年金センターで処分変更を行い、年金証書に「障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ」（別紙 1-1、1-2、1-3。以下「お知らせ文書」という。）を同封の上、送付します。

※ 精神障害に係る「支給事案」に関するお知らせ文書については、追ってお知らせします。

- ② 「年金生活者支援給付金請求書」の取扱いについて

点検の結果、障害基礎年金の受給権が発生した方には、後日「年金生活者支援給付金支給決定通知書」が送付されます。

「年金生活者支援給付金請求書」の受付がない場合は、年金決定後、年金証書に「【勧奨用】年金生活者支援給付金請求書」と「お知らせ文書（別紙 1-3）」、「不支給決定取消通知書」を同封して勧奨します。

- ③ お知らせ文書のパターンは、（表 1）のとおりです。

（表 1）

パターン	請求年金の種類	支援給付金の請求書	お知らせ文書	同封する書類
1	障害基礎年金 (20歳前含む) 障害厚生年金	受付あり	別紙 1-1	・ 年金証書 ・ 不支給決定取消通知書
2		受付なし (要件なし)	別紙 1-2	・ 年金証書 ・ 不支給決定取消通知書
3		受付なし (要件あり)	別紙 1-3	・ 年金証書 ・ 不支給決定取消通知書 ・ 【勧奨用】年金生活者 支援給付金請求書

※ パターン 1～3 いずれにも、各お知らせ文書に年金証書及び不支給決定を取り消す理由のお知らせを同封して送付します。

障害年金センターは、年金事務所で送付した「お知らせ文書」の種類が確認できるように、決定した年金請求書に紐づく【年金給付】受付進捗管理システムのメモ欄に、送付した「お知らせ文書」の番号を登録の上、「お知らせ文書」を送付してください。

例：「お知らせ文書 1-1」等

「お知らせ文書」には障害年金センターの電話番号が記載されていますが、年金事務所にお客様からの照会があった場合には、上記メモ欄で送付した「お知らせ文書」の確認が可能です。

（3）処分変更となる対象者のうち、追加書類が必要となる方への対応

審査の結果、追加書類（年金受給選択申出書等）の提出が必要となる方については、年金決定前に障害年金センターから返信用封筒を同封の上、書類等の提出勧奨（別紙 2）を行います。お客様から、書類等が年金事務所等に提出された場合は、以下の手順で事務処理を行ってください。

① 書類等の勧奨

ア 障害年金センターで行う事務処理

（ア）届書への朱書き

届書の左上部分に朱書きで「不支給等点検対象者」と記載した上で、「提出勧奨（別紙 2）」を同封の上、送付してください。

（イ）登録

2（2）③と同様に【年金給付】受付進捗管理システムのメモ欄に、送付した内容を登録してください。

例：「提出勧奨：（送付した届書・書類名）

送付日：令和●年●月●日

提出期限：令和●年●月●日（送付日から 2 週間後を目途に記載）」等

② 提出後の対応

ア 年金事務所で行う事務処理

（ア）受付

年金事務所に届書が提出された場合は受付し、【年金給付】受付進捗管理システムに新規受付登録してください。

（イ）点検

【年金給付】受付進捗管理システムのメモ欄を参照し、勧奨した書類が全て提出されているか確認してください。

記載不備の有無、添付書類の有無等を確認してください。

（ウ）回付

点検した書類は、速やかに障害年金センターに回付してください。

なお、処分変更での年金決定後に提出された諸変更届書については、通常どおり諸変更届書等を中央年金センターに回付してください。

イ 障害年金センターで行う事務処理

（ア）受付

障害年金センター受付分及び年金事務所からの回付受付分について、障害年金センターは【年金給付】受付進捗管理システムで受付登録を行ってください。

（イ）点検

上記ア（イ）と同様の方法で点検・審査を行ってください。

（ウ）裁定入力

年金給付システムで裁定入力を行ってください。

(エ) 回付

裁定後、点検した諸変更届書等は、速やかに中央年金センターに回付してください。

※ 点検対象者に係る諸変更届書については、届書の左上部分に朱書きで「不支給等点検対象者」と記載してください。

ウ 中央年金センターで行う事務処理

(ア) 受付

障害年金センターからの回付受付分について、中央年金センターは【年金給付】受付進捗管理システムで受付登録を行ってください。

(イ) 点検

通常の新規裁定された場合と同様の方法で審査を行ってください。

(ウ) 入力

年金給付システムで入力を行ってください。

③ 届書別の確認事項

ア 「年金受給選択申出書」の提出勧奨対象者

障害年金の不支給処分後に他年金の受給権が発生した等の理由で、年金の選択関係を確認する必要がある場合に送付します。

遡及して年金決定する期間について、遡って選択関係を見直しますので、改めてご本人の意思を確認した上で、年金受給選択申出書を受け付けてください。

※ 障害年金センターから送付する年金受給選択申出書には、様式の左上部分に朱書きで「不支給等点検対象者」と記載していますので、点検後は障害年金センターに回付してください。（イメージは下図のとおり）。

(年金受給選択申出書の表面)

不支給等点検対象者

様式第201号

国民年金
共済年金
厚生年金保険

年金受給選択申出書

日本年金機構

(選択関係にある二つ以上の年金を受けられるようになったときに停止の届出を申請する届及び生計維持申立)

二次元コード

※裏面の「年金受給選択申出に関するご確認事項」を必ずお読みください。
年金受給の選択は、将来に向かって変更することができます。

基礎年金番号(10桁)で届出する場合は左詰めでご記入ください。

令和	年	月	日	提出
----	---	---	---	----

①	個人番号 (または基礎年金番号)								
---	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

イ その他の諸変更届書にかかる留意事項

その他の諸変更届書について不備返戻する際にも、諸変更届書の左上部分に朱書きで「不支給等点検対象者」と記載していますので、点検後は障害年金センターに回付してください。

（４）「年金生活者支援給付金請求書」の提出勧奨対象者についての対応

年金生活者支援給付金請求書は、年金決定後、年金証書に「【勧奨用】年金生活者支援給付金請求書」と「お知らせ文書（別紙 1－3）」を同封の上、提出勧奨を行います。

提出先は年金事務所としていますので、年金事務所で受付後は、請求書を点検の上、中央年金センターに直接回付してください。（詳細は別紙 3 を参照してください。）

【支援給付金提出者】不支給の点検に関するお知らせ

令和7年●月●日

〇〇 〇〇 様

日本年金機構

障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ

平素より、公的年金制度に対するご協力を賜り、感謝申し上げます。

今般、令和7年6月11日に厚生労働省から公表された「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、令和●年●月●日付で不支給等の決定を行った障害年金請求書について、決定内容の点検を行いました。

その結果、障害年金の不支給決定を取消し、新たに障害年金を決定いたしましたので、「不支給決定を取消す理由のお知らせ（不支給決定取消通知書）」及び「国民年金・厚生年金保険 年金証書」をお送りいたします。

なお、詳細な支払額等につきましては、●月上旬頃に別途お知らせをお送りする予定ですのでご承知おきください。

また、障害年金の支給決定に伴い、障害年金生活者支援給付金の支給要件についても再度審査を行います。障害年金生活者支援給付金のお支払いについては、後日お知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。

この度は、ご心配・ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後は運用改善を徹底し、より客観的かつ公平な審査となるよう努めてまいります。

ご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

日本年金機構 障害年金センター
〇〇〇〇グループ
電話 03-××××-××××
担当：〇〇・〇〇

【支援給付金提出不要者】不支給の点検に関するお知らせ

令和 7 年●月●日

〇〇 〇〇 様

日 本 年 金 機 構

障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ

平素より、公的年金制度に対するご協力を賜り、感謝申し上げます。

今般、令和 7 年 6 月 11 日に厚生労働省から公表された「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、令和●年●月●日付で不支給等の決定を行った障害年金請求書について、決定内容の点検を行いました。

その結果、障害年金の不支給決定を取消し、新たに障害年金を決定いたしましたので、「不支給決定を取消す理由のお知らせ（不支給決定取消通知書）」及び「国民年金・厚生年金保険 年金証書」をお送りいたします。

なお、詳細な支払額等につきましては、●月上旬頃に別途お知らせをお送りする予定ですのでご承知おきください。

この度は、ご心配・ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後は運用改善を徹底し、より客観的かつ公平な審査となるよう努めてまいります。

ご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

日本年金機構 障害年金センター
〇〇〇〇グループ
電話 03-××××-××××
担当：〇〇・〇〇

【支援給付金未提出者】不支給の点検に関するお知らせ

令和7年●月●日

〇〇 〇〇 様

日本年金機構

障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ

平素より、公的年金制度に対するご協力を賜り、感謝申し上げます。

今般、令和7年6月11日に厚生労働省から公表された「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、令和●年●月●日付で不支給等の決定を行った障害年金請求書について、決定内容の点検を行いました。

その結果、障害年金の不支給決定を取消し、新たに障害年金を決定いたしましたので、「不支給決定を取消す理由のお知らせ（不支給決定取消通知書）」及び「国民年金・厚生年金保険 年金証書」をお送りいたします。

なお、詳細な支払額等につきましては、●月上旬頃に別途お知らせをお送りする予定ですのご承知おきください。

また、お客様につきましては、障害年金生活者支援給付金の請求をしていただくことができますので、同封の「年金生活者支援給付金請求書」に必要事項をご記入の上、令和○年○月○日までに年金事務所へご持参いただくか、または郵送によりご提出いただきますようお願いいたします。なお、提出期限までにご提出がない場合、障害年金生活者支援給付金の支払い開始月が遅くなる場合がありますので、ご注意ください。

この度は、ご心配・ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後は運用改善を徹底し、より客観的かつ公平な審査となるよう努めてまいります。

ご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

日本年金機構 障害年金センター
〇〇〇〇グループ
電話 03-××××-××××
担当：〇〇・〇〇

【年金事務所または街角の年金相談センターの所在地は、日本年金機構のホームページをご確認ください】

検索またはURLを入力

年金事務所

<https://www.nenkin.go.jp/section/soudan/index.html>

不足書類勧奨文書

令和7年●●月●●日

〇〇 〇〇様

日本年金機構

障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ
および追加書類のご提出のご案内

平素より、公的年金制度に対するご協力を賜り、感謝申し上げます。

今般、令和 7 年 6 月 11 日に厚生労働省から公表された「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」を受け、令和●年●月●日付で不支給等の決定を行った障害年金請求書について、決定内容の点検を行いました。

その結果、障害年金の不支給決定を取消し、新たに障害年金を決定することとなりましたので、お知らせいたします。

しかしながら、決定にあたり追加の書類をご提出いただく必要がありますので、下記の書類について、同封の返信用封筒にて、提出期限までにご提出いただきますようお願いいたします。

この度は、ご心配・ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今後は運用改善を徹底し、より客観的かつ公平な審査となるよう努めてまいります。

ご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先まで連絡ください。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

必要書類

・
・

【提出期限:令和●年●月●日】

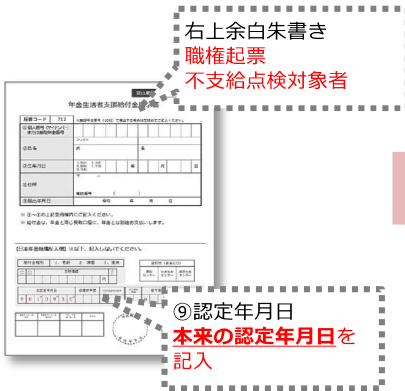
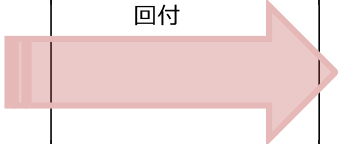
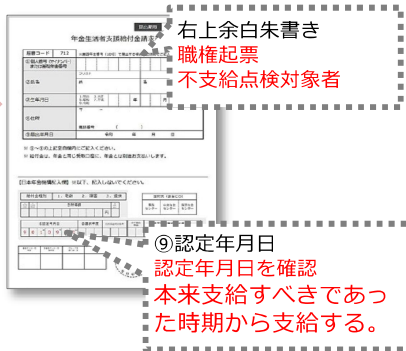
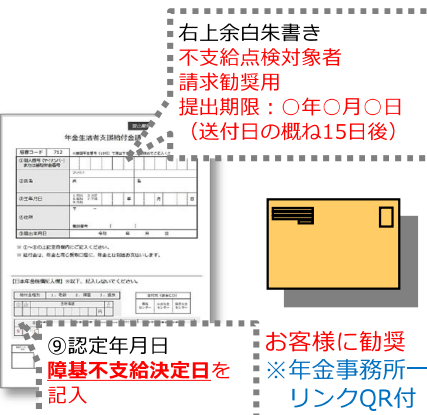

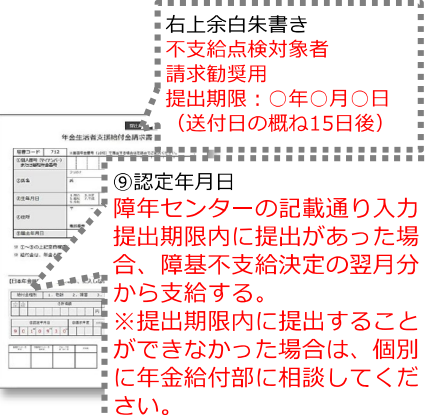
※ 提出期限までに提出できなかった場合でも、お早めにご提出ください。

【お問い合わせ先】

日本年金機構 障害年金センター
〇〇〇〇グループ
電話 03-××××-××××
担当：〇〇・〇〇

令和6年度不支給事案等点検対象者の年金生活者支援給付金の取扱い

- 不支給事案等の点検による処分変更により障害基礎年金（以下「障基」という。）の受給者となった場合の対応について、障基決定後の年金生活者支援給付金の事務処理は、以下のとおり行う。

	請求書受付の有無	遡及等の取扱い	障害年金センター	年金事務所	中央年金センター
1	●受付あり (不該当決定済)	●認定日請求の場合 ①障基の認定日から3月以内の請求の場合、 障基受発時から支給する。 ②障基の認定日から3月を超える請求の場合、 実際に請求を行った日の属する月の翌月から支給する。 ●事後重症請求の場合 ③障害請求日から3月以内の請求の場合、 障基の受発時から支給する。 ④障基の受発から3月を超える請求の場合、 実際に請求を行った日の属する月の翌月から支給する。	●請求書を職権起票 ・「0193」画面にて、該当年度の所得を確認する。  右上余白朱書き 職権起票 不支給点検対象者 ⑨認定年月日 本来の認定年月日を記入	●経由なし 回付 	●給付金の審査・入力 ・R6年度以前の継続認定が必要な場合は、併せて入力する。 ・令和7年度の継続認定に備え、情報提供NWS照会を行う。 ●決定通知書送付  右上余白朱書き 職権起票 不支給点検対象者 ⑨認定年月日 認定年月日を確認 本来支給すべきであった時期から支給する。
2	●受付なし (所得は該当)	●認定日請求の場合及び事後重症請求の場合 ①勧奨から15日以内に給付金を請求した場合、かつて 障基不支給とされた月の翌月から支給する。 ②勧奨から15日以内に給付金の請求がなかった場合、 実際に請求を行った日の属する月の翌月から支給する。	●請求書を勧奨 ・情報提供NWS照会を行い、所得を確認し支給要件に該当するか確認。 ・送付から15日後を提出期限とする。 ・所得が確認できない場合は、併せて所得状況届の勧奨も行う。  右上余白朱書き 不支給点検対象者 請求勧奨用 提出期限：○年○月○日 (送付日の概ね15日後) ⑨認定年月日 障基不支給決定日を記入 お客様に勧奨 ※年金事務所一覧 リンクQR付	●請求書受付 ●相談対応 ●審査 ※提出期限内に提出することができなかった場合は、個別に年金給付部に相談してください。 回付 	●給付金の審査・入力 ・R6年度以前の継続認定が必要な場合は、併せて入力する。 ・令和7年度の継続認定に備え、情報提供NWS照会を行う。 ●決定通知書送付  右上余白朱書き 不支給点検対象者 請求勧奨用 提出期限：○年○月○日 (送付日の概ね15日後) ⑨認定年月日 障年センターの記載通り入力 提出期限内に提出があった場合、障基不支給決定の翌月分から支給する。 ※提出期限内に提出することができなかった場合は、個別に年金給付部に相談してください。

不支給等事案の点検に係る Q & A

職員向け Q & A

Q 1 今回、障害年金の不支給等の取消しを行う理由は何ですか。

A 1

令和 7 年 6 月 11 日、厚生労働省より「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書について」（年管発 0611 第 1 号）（以下「通知」という。）が発出されました。

「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」において、精神障害等の、令和 6 年度以降の不支給等事案（既に審査請求で裁決等が行われた事案を除く。）について、障害認定基準やガイドライン（※）に則り、適切な判定が行われているかどうかを確認することとされました。

不支給等事案の点検をした結果、障害等級に該当する程度の障害状態にあると確認できた方については、先の不支給処分を取消し、新たに障害年金を決定することとされたことから、今回の対応を行ったものです。

※ 国民年金・厚生年金保険 精神の障害に係る等級判定ガイドライン

（参考）

[令和 7 年 6 月 11 日【給付指 2025-65】「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」に関する周知](#)

Q 2 点検の対象者は、どのような方ですか。

A 2

下記の事案が点検の対象です。

- ① 精神障害等（障害認定基準上の「その他の疾患による障害」の基準に基づいて認定する障害を含む。）の、令和 6 年度以降の不支給事案（既に審査請求で裁決等が行われた事案を除く。）
- ② 精神障害の、令和 6 年度以降の目安（※）より下位の等級に認定され支給されている事案や、目安が 2 つの等級にまたがるものについて下位等級に認定され支給されている事案

なお、点検は①、②の順に行います。

※ 目安とは、「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」に基づく「障害等級の目安」をいう。

Q 3 その他障害の点検の進捗状況はどうなっていますか。

A 3

その他の障害についても、順次点検を進めています。

点検が完了し次第、支給決定となるお客様に通知をお送りします。

Q 4 点検の結果、支給決定となる場合、いつから支給されますか。

A 4

障害年金の支給に関しては、当初の不支給決定が取り消され、当初の請求に対して支給・不支給の決定の判断がされていない状態となるため、新たな等級判断に基づく支給決定を行い、認定日から或いは、（事後重症請求の場合は）当該請求の時から、障害年金が支給されることとなります。

Q 5 点検の結果、不支給等の取消しを行うこととなった方に対しては、どのように対応するのですか。

A 5

不支給等処分を取消す方に対しては、不支給決定取消通知書、年金証書及びお知らせ文書（「障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ」）を送付します。

※ 初回決定者は令和7年9月25日（木）です。

Q 6 受付進捗管理システム上で「点検完了/処分変更あり」と入力されてから、決定通知書が送付されるまでどれくらいかかりますか。

A 6

審査状況によって異なるため、一律にお答えすることができません。

処分変更有りの方には、お知らせ文書の送付をもって点検結果をお伝えさせていただくこととなる旨、お伝えしてください。

Q 7 点検の結果、不支給等の取消しを行わないこととなった方にお知らせは送付しますか。

A 7

点検の結果、不支給等の取消しを行わないお客様に対しては、個別にお知らせは送付しません。

Q 8 点検が完了した方及びその点検結果を確認することはできますか。

A 8

点検の進捗状況については、【年金給付】受付進捗管理システムで確認することができます。具体的な確認方法は【別添 1】を参照してください。

Q 9 点検の対象者は、受給者原簿で確認できますか。

A 9

点検の結果は、不支給の取消しを行わないお客様には受給者原簿が作成されないこと等から、点検の対象者は受給者原簿で確認することはできません。

点検の対象者は、【年金給付】受付進捗管理システムで確認することができますので、具体的な確認方法は【別添 1】を参照してください。

Q 10 年金がいつから遡って支払われるのかを確認することはできますか。

A 10

点検の結果、障害年金の支給対象となる方については、順次、受給者原簿が作成されるため、受給者原簿で支払い開始年月を確認することができます。

Q 11 障害年金が不支給となったお客様から、不支給が取り消されるのかと照会があった場合、どのように回答すればよいでしょうか。

A 11

【別添 1】2（1）より、点検対象者であるか確認した上で、回答してください。

① 点検対象者である場合

点検の対象者である旨を回答し、点検の進捗状況については、【別添 1】を参照して回答してください。

点検がまだ完了していない場合は、今しばらくお待ちいただくよう、ご案内をお願いします。

なお、点検が完了したお客様の障害の状態について確認が必要な場合には、障害年金センターの各担当グループへ連絡してください。

② 点検対象者ではない場合

【年金給付】受付進捗管理システムにより、障害年金請求書の処理状況を確認してください。

（ア）不支給処分が令和 6 年度ではない場合

点検の対象者ではない旨を丁寧に説明してください。また、今後の検討の結果、点検の範囲が変更となる場合は、日本年金機構ホームページ等でお知らせする旨を説明して下さい。

※令和 7 年 4 月～8 月分及び支給分の点検対象者については、今後、順次登録する予定です。

（参考）

[令和 7 年 7 月 29 日【給付指 2025-82】「日本年金機構ホームページにおける障害年金に関する情報の充実」](#)

（イ）令和 6 年度に不支給処分がされている場合

点検の対象者か確認が必要なため、確認の上、回答する旨を伝えてください。また、お客様と連絡が取れる連絡先の聴取もあわせてお願いします。

※ 点検対象者と思われる方からの連絡があり、【年金給付】受付進捗管理システムのメモ欄に点検対象者の登録がない場合については、確認のため、年金給付部障害年金 G（03-6861-8140）まで連絡してください。

Q 1 2 お客様対応は年金事務所で行うのですか。

A 1 2

お客様から一般的な内容について照会があった場合には、年金事務所で対応をお願いします。

点検の結果、処分変更がされなかったお客様から、その理由について照会があった場合は、「前回不支給と判断された理由について、複数の認定医により点検を行ったが、その内容については変更がなかった。」旨、説明してください。

その上で、障害の状態に関する回答が必要な場合には、障害年金センターの各担当グループへ確認の上、対応をお願いします。

Q 1 3 お知らせ文書（「障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせおよび追加書類のご提出のご案内（【別添 1】（別紙 2）」）を送付したお客様から、送付された年金受給選択申出書を紛失した旨の相談があった場合、どうすればよいですか。

A 1 3

通常の年金受給選択申出書の左上部分に、朱書きで「不支給等点検対象者」と記載した上で、障害年金センターに回付してください。

お客様向けQ & A

Q 1 日本年金機構からお知らせ文書（「障害年金の不支給等事案の点検による年金決定のお知らせ」）が届いたが、何か手続が必要になるのでしょうか。

A 1

お知らせ文書で不足書類のご案内がある場合は、不足分の書類提出をお願いします。特にご案内がない場合は、特段のお手続は必要ありません。後日、年金振込通知書が送付されますので、今しばらくお待ちください。

Q 2 障害年金センターから年金受給選択申出書を提出するようお手紙が届きました。提出期限が記載されていますが、手続が遅れた場合、障害年金は遡って受給できないのでしょうか。

A 2

手続が提出期限より遅れた場合であっても、不支給決定を取り消した時点に遡って受け取る年金を変更します。年金受給選択申出書が提出されましたら、障害年金の決定を行いますので、できる限りお早めに、同封の年金受給選択申出書を年金事務所にご提出いただくよう、お願いします。

Q 3 支給が遅れた部分について、遅延特別加算金は加算されますか。

A 3

年金記録の訂正によるものではないため、遅延特別加算金は加算されません。

Q 4 現在、配偶者に加給年金が支給されています。自分の障害年金が支払われる場合、配偶者に支給されている加給年金は支給停止となるのでしょうか。

A 4

障害年金の不支給決定を取り消し、当初の請求の時からお支払することにより、配偶者の加給年金も遡って停止となり、支給済みの加給年金は返納いただくこととなります。

Q 5 過払いとなった配偶者の加給年金は、どのように返納するのでしょうか。

A 5

過払いとなった加給年金については、今後、配偶者にお支払いする年金（最大で 1 / 2 の金額）で調整する予定です。

他の方法をご希望の場合には、大変恐れ入りますが、お近くの年金事務所又は街角の年金相談センターにご相談ください。

Q 6 障害年金に子の加算額が支給されることになる場合、配偶者の児童扶養手当は遡及して返納となるのでしょうか。

A 6

障害基礎年金に子の加算額が加算される場合、児童扶養手当は調整されます。詳しくは、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

【日本年金機構HPへの掲載内容：「障害年金の認定状況について」】

音声読み上げ | 文字の大きさ

標準 大 特大

 | 外国人のみなさま / International | サイトマップ



日本年金機構
Japan Pension Service

Googleカスタム検索

検索

 採用情報

ホーム

年金の制度・手続き

申請・届出様式

年金Q&A

年金のご相談
(電話・窓口)

日本年金機構について

緊急情報

災害関連情報（令和6年能登半島地震に関する情報はこちら）
自動音声ガイダンスによる日本年金機構等を名乗る不審電話にご注意ください。



年金相談・お手続きの際は
予約相談 をご利用ください。
全国どこの年金事務所でも、予約・相談が
できます！

▶ CLICK

あなたの年金 簡単便利な
ねんきんネット 

ログイン

新規利用登録

ねんきんチャットボット
が疑問にお答えします

クリック 

お問い合わせに
自動で対応します。
日本年金機構が管理している外部（富士通株式会社）
のサービスに移行します。

事業主の方
社会保険事務担当の方

国民年金に加入の方
(自営業・学生など)

厚生年金保険に加入の方
(会社員・公務員など)

年金を受給している方
年金を請求する方

障害のある方

社会保険労務士
年金委員
市区町村担当者

障害年金の制度

障害年金の等級表

障害年金の認定基準

障害年金の手続き

通知書の見方

相談・手続きの予約

代理人に手続きを委任する

医師の方へ（診断書の作成）

手話・点字

障害年金業務統計

障害年金の認定状況について

「障害年金の認定状況について」をクリックすると
直接対象ページ（次頁）に移動することができる。

障害のある方の詳細ページへ

シーンから必要な手続きを探す



20歳になったとき



就職・転職・退職



結婚・離婚
出産・育児



海外転出入
海外在住の皆さま



老齢年金の
手続き



病気やけがで
障害が残ったとき



身近な方が
亡くなったとき



被災したとき

よく使われているページ

被扶養者（健康保険）の異動の届書

従業員を採用したとき

随時改定（月額変更届）

届書作成プログラムのダウンロード

国民年金保険料の免除・納付猶予

年金相談や手続きを委任するとき
（委任状のダウンロード）

1

【日本年金機構HPへの掲載内容：「障害年金の認定状況について」】

音声読み上げ

|

文字の大きさ

標準

大

特大

|

外国人のみなさま／International

|

サイトマップ



Googleカスタム検索

検索

採用情報

ホーム

年金の制度・手続き

申請・届出様式

年金Q&A

年金のご相談
(電話・窓口)

日本年金機構について

トップページ

特設ページ

障害年金の認定状況について

障害年金の認定状況について

ページ ID：170010030-733-959-246

更新日：2025年 9月19日

印刷

「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」

令和7年6月11日に厚生労働省から「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」が公表されました。

- > [令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書（PDF）](#)
- > [令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書の概要（PDF）](#)

更新箇所

「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」への対応状況

第80回社会保障審議会年金事業管理部会（令和 7 年 9 月19日）資料

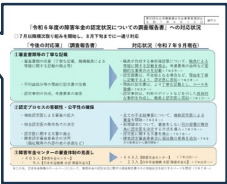
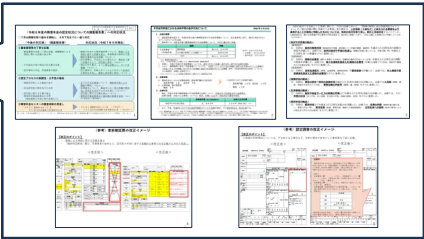
> [「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」への対応状況（PDF）](#)

認定業務の運用改善

> [「令和6年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」への対応状況（PDF）](#)

不支給等事案の点検

> [不支給等事案にかかる点検作業の進捗状況について（PDF）](#)



関連情報

障害年金の障害等級は、「障害認定基準」、「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」等に基づき認定しています。以下の「障害認定基準」から詳しい内容をご確認いただけます。

[障害認定基準](#)

障害年金の決定件数等については、以下の「障害年金業務統計」から詳しい内容をご確認いただけます。

[障害年金業務統計](#)

「令和 6 年度の障害年金の認定状況についての調査報告書」への対応状況

○ 7 月以降順次取り組みを開始し、8 月下旬までに一通り対応

「今後の対応策」 (調査報告書)

対応状況 (令和 7 年 9 月現在)

① 審査書類等の丁寧な記載

- ・ 審査書類の改善 (丁寧な記載、機構職員による等級に関する記載の廃止等)
- ・ 不利益処分等の理由付記文書の改善
- ・ 認定事例の作成、考慮要素の徹底



- ・ 職員が作成する事前確認票について、職員による等級に関する記載を廃止。考慮要素の抜粋など客観的な事実のみを記載<7 年 8 月～>
- ・ 認定調書は、不支給となる場合など、理由を丁寧に記載するよう、認定医に周知<7 年 8 月～>
- ・ 理由付記文書は、より丁寧な記載とし、ルールを整備<7 年 8 月～>
- ・ 認定事例は、判断のポイントなどを付した具体的な事例を作成し、職員と認定医に周知<7 年 7 月～>

② 認定プロセスの客観性・公平性の確保

- ・ 複数認定医による審査の拡大
- ・ 担当認定医の無作為での決定
- ・ 認定医に関する文書の廃止
- ・ 障害認定審査委員会の活用 (福祉職等の外部の者の参画など)



- ・ 全ての不支給事案について、複数認定医による審査を開始<7 年 8 月～>
- ・ 新規請求について、審査をしない別の部署が無作為に認定医を決定する方式を導入<7 年 7 月～>
- ・ 認定医に関する文書を廃止<7 年 7 月～>
- ・ 障害認定審査委員会に福祉職の委員を追加<7 年 8 月の委員会から運用開始>

③ 障害年金センターの審査体制の見直し

- ・ 4 0 5 人【障害年金センター】
- ・ 9 人【日本年金機構 本部 障害年金 G】



- ・ 4 4 4 人【障害年金センター】 <7 年 10 月～>
- ・ 1 3 人【日本年金機構 本部 障害年金 G】 <7 年 10 月～>

※この他、日本年金機構のホームページにおいて、障害年金の認定状況に関する調査報告書やその取組状況を紹介するページを開設 (7 年 7 月～)

不支給等事案にかかる点検作業の進捗状況について

令和7年9月19日

1. 点検の概要

- 調査報告書を踏まえ、令和6年度以降の精神障害等の不支給等事案について、認定基準等に則り、適切な判定が行われているかどうかを点検。
- 具体的には、令和6年度の精神障害等の不支給事案について、年内に優先的に実施。

	種類	件数
不支給事案（※1） （令和6年度）	精神障害	約 10,200 件
	その他の疾患による障害（※2）	約 800 件
合計		約 11,000 件

（参考）全体の決定件数
 ・ 全障害： 約150,000件
 ・ 精神障害： 約99,000件

（※1）審査請求事案を除く

（※2）「その他の疾患による障害」とは、慢性疲労症候群、線維筋痛症等

- 同様に、令和7年度の不支給事案についても、認定プロセス見直し前の4月～8月分の点検を実施。
- さらに、精神障害に係る「支給事案」についても、「目安（※3）」より下位の等級に認定され支給されている事案や「目安」が2つの等級にまたがり下位等級に認定され支給されている事案（参考：令和6年度約25,000件）について、その後順次、同様に点検を行う。

（※3）ガイドラインにより診断書の記載項目から導き出される障害等級の目安

2. 点検体制

- 障害年金センターの常勤医師等（高度専門職及び認定医）
高度専門職 1名、認定医 5名
- 点検準備、集計業務等
職員 5名

○10月から以下の体制を強化

- ・ 高度専門職 + 1名、認定医 + 3名
- ・ 職員 + 3名

3. 点検状況

- 現在、令和6年度の精神障害の不支給事案の点検について、令和6年7月原処分まで点検済み。
点検の結果、支給となる事案については、順次、対象となる方へ支給決定文書等を発送。

	点検済件数（R6.7原処分まで）	支給となる件数
令和7年9月19日現在	2,895 件	124 件（約4.3%）（※4）

- また、今後、年度内にかけて月2,000件程度のペースで点検を進め、その進捗状況は、毎月公表する。

（※4）調査報告書においては、令和7年3月時点で認定医の審査過程で不支給と見込まれた審査中の1,155件について、5月23日時点で確認を終えたものは903件、そのうち10.4%の94件が支給決定となったとされている（その後、1,155件全ての確認を終え、8.7%の101件が支給決定となった）。この確認は、目安どおりに不支給となる事案等が含まれていないなど、不支給となる事案全体を対象としたものではないため、上記の数字と単純に比較できない。

- 当初の処分で不支給とした事案に関して、今回の点検において、「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」の「総合評価の際に考慮すべき要素」等も踏まえ、**上位等級（2 級など）と捉えられる要素をより重視することが適当と判断したものについては、当初の処分を取り消し、新たに支給決定することとした。**
- ※障害認定は、個々の診断書や申立書等の内容を踏まえ、総合的に評価しており、下記に記載した要素のみで判断しているものではない。

<病状や状態像の観点>

（精神障害）

- 当初は、**症状の発現状況**（陰性症状の有無、躁状態とうつ状態の期間、頻度等）を踏まえた日常生活の制限の程度を評価した。点検では、**症状の経過や予後の見通し**（療養が長期に渡っている、予後が悪い等）を踏まえた日常生活への影響をさらに重視した。

（知的障害）

- 当初は、**援助の必要度**（慣れた環境下での状況、習慣的な動作が自立している等）を踏まえた日常生活の制限の程度を評価した。点検では、**様々な環境を踏まえた援助の必要性**（不慣れた環境下での状況、家庭内や職場内での支援状況等）をさらに重視した。

（発達障害）

- 当初は、**日常生活能力**（家事、金銭管理、清潔保持等）や**就労意欲**を評価した。点検では、**対人関係や意思疎通を踏まえた援助の必要性**をさらに重視した。

<療養状況の観点>

- 当初は、**現在の病状**や**病状の改善状況**を踏まえた日常生活能力を評価した。点検では**入院歴**（期間、頻度、状態が不安定かどうか等）、**薬物治療の内容等**（種類・量・期間）をさらに重視した。

<生活環境の観点>

- 当初は、**独居や福祉サービスの利用の有無**などを踏まえた日常生活能力を評価した。点検では、その**背景の状況**（対人不信、対人恐怖、社会性の欠如、周囲の援助、IQ等）をさらに重視した。

<就労状況の観点>

- 当初は、**就労状況**などを踏まえた日常生活能力を評価した。点検では、**仕事の内容**（単純作業の繰り返し、家業の手伝い等）、**就労実態**（配慮、勤務日数、職場での意思疎通等）、**日常生活への影響**（就労の疲労により日常生活で声かけが必要等）をさらに重視した。

(参考) 事前確認票の改正イメージ

【改正のポイント】

- ・ 職員による等級に関する記載を廃止
- ・ 「職員特記事項」欄は、考慮要素の抜粋など、認定医の判断に資する客観的な事実のみを記載する方向で見直し。

< 改正前 >

< 改正後 >

請求者氏名	〇〇 〇〇 歳	傷病名	ICD10コード	2次事確認	上席等	二次担当	一次担当
区分	認定日分	基礎年金番号	XXXXXXXXXXXX	<input type="checkbox"/>			
症状固定	固定日						

目安シート等級	療養状況	考慮すべき要素	根拠	事前確認結果
1級	外来 入院	6	<input checked="" type="checkbox"/> 診断書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> その他 ()	1級
1級又は2級	生活状況 単身(福祉サービスなし) 単身(福祉サービスあり) 同居者あり その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	2級
2級	就労状況 無職 一般企業 勤務先 その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	障害手当金
2級又は3級	雇用体系 障害者雇用 一般雇用 その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	3級時該当
3級	勤続年数 (〇〇年〇〇ヶ月) 仕事の頻度 (週に 不定 日) (月に 日) 休職中	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 診断書 () <input type="checkbox"/> 病歴申立書 () <input type="checkbox"/> その他 ()	事前確認保留 (理由)
3級又は3級非該当	知的障害	てんかん	発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回 発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回 発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回	<input type="checkbox"/> 現症日乖離 <input type="checkbox"/> 医師または本人に照会が必要 <input type="checkbox"/> その他
3級非該当	IQ値等	障害者手帳等	手帳の種類 身 精 療 等級 手帳の種類 身 精 療 等級	
目安外	教育歴	職員特記事項 (等級確認にあり伝達事項等があれば記載)		

請求者氏名	〇〇 〇〇 歳	傷病名	ICD10コード	上席等	二次担当	一次担当
区分	認定日分	基礎年金番号	XXXXXXXXXXXX			
症状固定	固定日					

目安シート	療養状況	考慮すべき要素	根拠	考慮すべき要素等に開する法的事項
1級	外来 入院	6	<input checked="" type="checkbox"/> 診断書 (〇ウ1 (イ) 欄) <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇ウ1 (イ) 欄) <input type="checkbox"/> その他 ()	全般的に大きな問題は無いがうつ状態が悪化した時には交流が乏しくなる
1級又は2級	生活状況 単身(福祉サービスなし) 単身(福祉サービスあり) 同居者あり その他 ()	20	<input type="checkbox"/> 診断書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> その他 ()	自分の動機の問題・・・生活全般を離脱した元夫に援助してもらっている。
2級	就労状況 無職 一般企業 勤務先 その他 ()	39	<input type="checkbox"/> 診断書 (〇エ) 欄 <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇エ) 欄 <input type="checkbox"/> その他 ()	仕事の頻度不定日「自分の問題で店を休むことあり、決定していない」(診断書) ※ 活動時間(片道)2分、出勤日数が「請求日の前月5日 請求日の前々月15日」(病歴申立書)
2級又は3級	雇用体系 障害者雇用 一般雇用 その他 ()	認定基準	<input type="checkbox"/> 診断書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> その他 ()	4傷病ですが、⑬欄に記載がありません。
3級	勤続年数 (〇〇年〇〇ヶ月) 仕事の頻度 (週に 不定 日) (月に 日) 休職中/期間	その他	<input type="checkbox"/> 診断書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> 病歴申立書 (〇イ) 欄 <input type="checkbox"/> その他 ()	診断書上は「同居者無」ですが、病歴申立書では「子供の世話も十分にできていない」との記載があります。
3級又は3級非該当	知的障害	てんかん	発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回 発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回 発作タイプ 頻度 年間 () 回 月平均 () 回	
3級非該当	IQ値等	障害者手帳等	手帳の種類 身 精 療 等級 手帳の種類 身 精 療 等級	
目安外	教育歴	職員特記事項 (等級確認にあり伝達事項等があれば記載)		

（参考） 認定調書の改正イメージ

【改正のポイント】

○等級の判断理由については、不支給となる場合など、判断の理由や参考とした要素等を丁寧に記載。

< 改正前 >

認定調書		障害厚生年金（新規裁定）		基礎年金 番号		請求者氏 名		生年月 日		年金事 務所		グループ 長		グループ長代 理	
傷病名		ア. 統合失調症 イ.		病名区 分		請求事 由		診断書 種別				医療専門 役		認定医	
初診日				(歳)											
付記 1		申立		付記 2											
障害認定日															
請求日				(歳)											
区分															
人工 臓器 等															
現 症 日		未経過													
障害認定 日															
請求日															
(初2)基 準傷病															
【事務連 絡】															
認定日		請求日													
日安		2													
事前確認															
受給 権発 生日		障害認定日		請求 日		年		月		日		改定日		月	
傷病コード		1		2		3		4		5		6		7	
診断書コー ド		1. 永久固定		2. 呼吸器		3. 循環器		4. 聴力・口腔・言語		5. 眼		6. 肢体		7. 精神	
		8. 腎・肝・糖		9. 血液・造血器・その他											

< 改正後 >

認定調書		障害厚生年金（新規裁定）		基礎年金 番号		請求者氏 名		生年月 日		年金事 務所		グループ 長		グループ長代 理	
傷病名		ア. 統合失調症 イ.		病名区 分		請求事 由		診断書 種別				医療専門 役		認定医	
初診日				(歳)											
付記 1		申立		付記 2											
障害認定日															
請求日				(歳)											
区分															
人工 臓器 等															
現 症 日		未経過													
障害認定 日															
請求日															
(初2)基 準傷病															
【事務連 絡】															
認定日		請求日													
日安		2													
事前確認															
受給 権発 生日		障害認定日		請求 日		年		月		日		改定日		月	
傷病コード		1		2		3		4		5		6		7	
診断書コー ド		1. 永久固定		2. 呼吸器		3. 循環器		4. 聴力・口腔・言語		5. 眼		6. 肢体		7. 精神	
		8. 腎・肝・糖		9. 血液・造血器・その他											

（記載例）

陽性症状はあるものの、意思疎通も大きな問題はなく日常生活を送れている。保護的环境下での軽作業は可能で、なんとか就労。総合的に勘案した結果、2級の日常生活に著しい制限があるとまでは認められず、3級に該当と判断。

< 参考 >

- ・診断書⑩イ欄「・・・」（3 G）、診断書⑩ウ1（イ）欄「・・・」とあり、日常生活に著しい制限があるとまでは言えない。（3 G）（要素 3）
- ・診断書⑩エ欄「・・・」とあり、支援がなく就労している。（3 G・非）（要素 32）
- ・診断書⑪欄「保護的环境下での軽作業可能。」とあり、労働が制限を受けるものであることが窺われる。（3 G）（要素 32）

1 級	記載欄
2 級	目安
3 級	目安、診⑩イ、 ⑩ウ1（イ）、⑩エ、⑪
非	診⑩エ

※認定医の負担を考慮し、< 参考 > 欄は認定医から聴取した内容を職員が清書するなど、運用の簡素化を図る